

流れ藻観測速報

鹿児島大学水産学部水圏科学分野
20240221

観測期間:2024年2月18日~21日
観測船:鹿児島大学練習船南星丸
観測海域:薩南海域

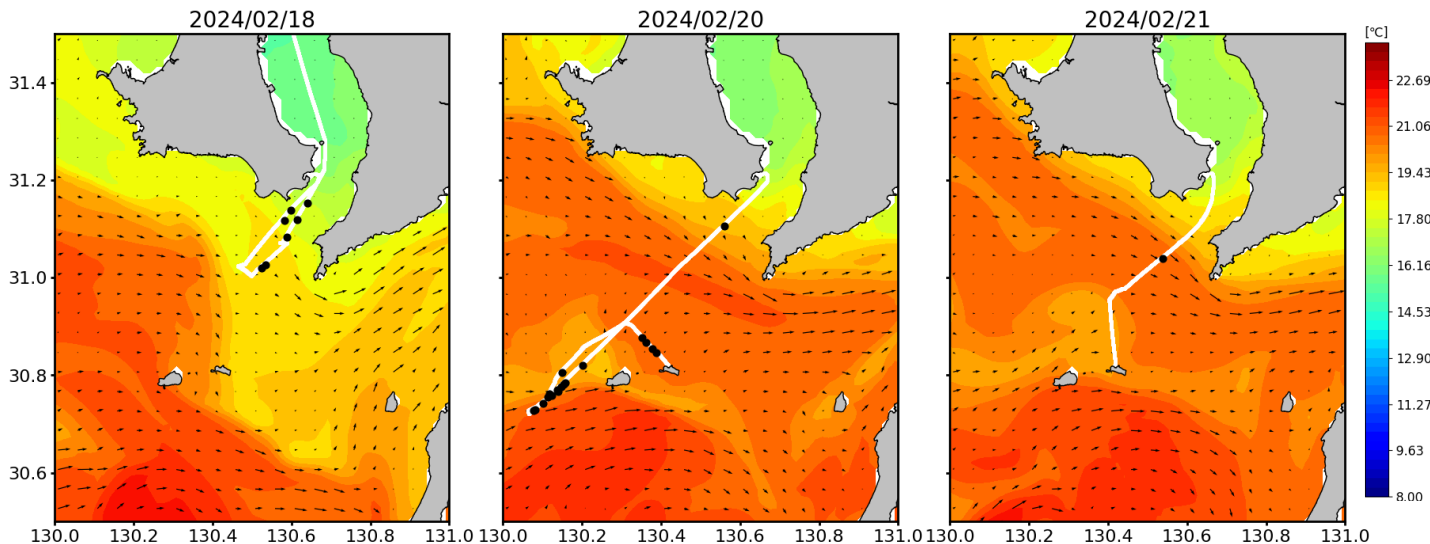


図1. 薩南海域における流れ藻の分布. 南星丸の航路を白線、流れ藻を発見した地点を黒点で示す. 高分解能海洋モデル(DR_E)で推定された、各観測日の流向流速(矢印)および海表面水温(赤~青)も示す.

解説

鹿児島大学水産学部・工学部では、モジャコ漁のスマート化を目指した研究を行っている。モジャコ漁の漁期前・漁期中において、薩南海域に来遊する流れ藻の情報を漁業者に提供するため、鹿児島大学練習船(南星丸)により、薩南海域の流れ藻観測を2月18日~2月21日に実施した。なお、19日は悪海況のため流れ藻観測を実施できなかった。

流れ藻の集群は、硫黄島北部および西部(東経130.1~130.4度・北緯30.7~30.9度)だけでなく、鹿児島湾口部(東経130.5~130.7度・北緯31~31.2度)でも見られた。流れ藻の集群は硫黄島北部および西部では大規模であり、鹿児島湾口部では小規模であった。20日の硫黄島西部では黒潮フロントが見られ、サイズが大きな流れ藻が多く滞留していた。

今後、3月26日~30日にも南星丸による流れ藻観測結果を公表する予定である。